

2024 年度第 2 回ジェンダーギャップを越える STEAM 教育研究会の開催について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて本校は、平成 18 年より SSH 研究指定を受け、女子の理系支援を促すためのカリキュラム研究、各種の研修や課題研究などさまざまな事業に取り組んで参りました。一昨年より第 4 期の指定を受け、さらに生徒の主体性を育み、深い学びへと導く手法について研究を進めております。このたび SSH 事業として、奈良女子大学 STEAM・融合教育開発機構（RISE）、立命館中学校・高等学校と共に、「ジェンダーギャップを越える STEAM 教育研究会」を開催する運びとなりました。

社会の喫緊の課題である理工系人材の育成にはジェンダーギャップの解消が不可欠であり、女子中学生・高校生への支援策が必要です。この教育研究会では、今までの教育実践例、有識者による提言、現状の分析等を手掛かりに、理数系教科の新しい教科指導・進学指導のあり方を研究するとともに、同様の意識を持つ先生方とインクルーシブな STEAM 教育を考えるネットワークの構築を目指しております。

つきましては、校務ご多用のこととは存じますが、多数の皆様にご参加いただき、ご指導・ご助言を賜りたくご案内申し上げます。

記

- 主催 奈良女子大学 STEAM・融合教育開発機構（RISE）
共催 立命館中学校・高等学校
学校法人ノートルダム清心学園 清心中学校清心女子高等学校
- 日時 令和 6 年 12 月 15 日（日）11:00 ～ 15:10
- 場所 国立大学法人奈良国立大学機構 奈良女子大学 S 棟ラウンジ
〒630-8506 奈良県奈良市北魚屋東町
- 内容 【第 1 部（オンサイト及びオンラインのどちらでも参加可能）】
河野銀子氏（九州大学男女共同参画推進室教授）による講演
【第 2 部（オンサイトのみ参加可能）】
教育現場からの実践報告、参加者によるディスカッション
（今の時代の女子生徒に合わせた理数系教育、理系進路指導など）
- 参加者 中学・高校・大学等の教育関係者 あるいは 女子教育や STEAM 教育に関心のある方
※子育て世代の参加者のために、当日は託児サービスを予定しております。サポートの必要な参加者は 11 月 27 日までに参加申込フォーム上でご相談下さい。
- 参加費 無料 ※会場までの交通費は自己負担でお願いします。
※昼食をご持参ください。
- 申込み 右の QR コードを読み取り、参加申込をお願いします。
下の連絡先にメールを頂く形でも参加登録が可能です。
※申込〆切：12 月 6 日（金）
- 連絡先 学校法人ノートルダム清心学園清心中学校 清心女子高等学校
Tel：086-462-1661 E-mail：tanaka-fu@nd-seishin.ac.jp（担当 田中福人）

詳しくは裏面を
ご覧ください。



本研究会は公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団 及び 公益財団法人 村田学術振興・教育財団の助成を受けて運営しています。

○ 当日のプログラムの詳細

- 10:30 - 11:00 奈良女子大学キャンパス案内 ※希望者
- 11:00 - 11:10 開会式
- 11:10 - 12:10 河野銀子氏講演
- 12:10 - 13:00 昼食兼ネットワーク作り
- 13:00 - 13:30 教育現場からの実践報告
- 13:30 - 14:00 休憩
- 14:00 - 15:00 ディスカッション
- 15:00 - 15:10 閉会式

○ 講師紹介



河野銀子

写真：共同参画 令和4年9月号より

所 属：九州大学 男女共同参画推進室 教授

学 位：修士（教育学） 博士（社会学）

研究分野：教育社会学、ジェンダーと科学技術政策

研究キーワード：ジェンダーと科学技術、女子の理系進路選択、
高大接続、教員のキャリア形成

学術活動：

日本教育社会学会（代議員）、国際ジェンダー学会（理事）、
日本性差医学・医療学会（評議員）、科学技術社会論学会、
日本高等教育学会、等。

日本学術会議連携会員（23-24期、25-26期）、人文社会科学系
学協会男女共同参画推進連絡会、JSPS 男女共同参画推進アドバイザー。

受賞歴：第10回東北大学澤柳記念 DEI 賞（A賞）

著書：『理科離れしているのは誰かー全国中学生調査のジェンダー分析』（分担執筆、日本評論社）
『女性研究者支援政策の国際比較ー日本の現状と課題』（共編著、明石書店）
『新版 教育社会とジェンダー』（共編著、学文社）、
『女性校長はなぜ増えないのかー管理職養成システム改革の課題』（編著、勁草書房）、他。

論文：「女子高校生の「文」「理」選択の実態と課題」『科学技術社会論研究』7
「理系進路選択とジェンダー：日本の現状を中心として」『アジア・ジェンダー文化学研究
（奈良女子大学）』3、
「科学技術政策とジェンダーー学校教育への注目」『学術の動向』26（7）
「大学におけるジェンダーバランス改善に向けてー女子の大学進学実態と理系進路 選択支援事
業の現状から」『日本物理学会誌』79（6）、他多数

本研究会では、九州大学男女共同参画推進室の教授である河野銀子先生をお迎えしております。

河野先生は、長年にわたりジェンダー平等と多様性に関する研究・教育に取り組んでこられ、この分野での第一線を歩んでいらっしゃいます。前職の山形大学では四半世紀にわたり教員養成に従事され、九州大学着任後も教育機関や社会におけるジェンダーに関する課題に対し、積極的な取り組みを推進されています。また、学術的な研究のみならず、社会におけるジェンダー平等の実現に向けた政策提言や啓発活動にも尽力されており、多方面でのご活躍が高く評価されています。

今回の講演では、教育現場や企業においても役立つ貴重な情報や洞察を提供していただければと思います。